


県内で確認された外来魚

平成6年から平成27年12月までに水産試験場が確認した外来魚（オコチバス、ブルーギルを除く。）



● 繁殖が確認されたもの


コクチバス



近年、県内ダム湖において相次いで繁殖が確認されています。琵琶湖での繁殖は確認されていませんが、このようなダム湖が供給源となり、下流の河川、最終的には琵琶湖まで流出し、オコチバスと同様に異常繁殖することが危惧されます。

● 繁殖する可能性があるもの

ガー類 **チャネルキャットフィッシュ** **エンツイ** **アミア・カルバ**



ショートノーズガー、ロングノーズガー、ス波特トガー、アリゲーターガーなど (別名: アメリカナマス)

これらは、本来北米大陸や中国大陸に生息しており、主に肉食性の生物です。これらの生息可能水温から考えると県内においても越冬できる可能性があり、**複数の個体が放流されている場合は繁殖する恐れ**があります。繁殖した場合には在来種を食害するなど、生態系への大きな影響が懸念されます。

無責任に観賞魚などを天然水域に放たないで！！
 ※コクチバス、チャネルキャットフィッシュ、カミツキガメは外来生物法により**特定外来生物**に指定されており、飼養・運搬等が禁止されています。